

Interview : 木材業界に“デジタル”の力をお届け

中四国営業課の田路(トウジ)です。

今月号では高知県の松浦木材株式会社様にお話を伺いました。同社は、VUCA時代を生き残るため、両利きの経営を実践されていました。その中で、木材業界のDX化に貢献するために新たな取組を行われていました。ご興味のある方は是非同社までお問合せください。

◆デジタイゼーション>デジタライゼーション>**DX** …単なるデジタル化とは異なります！！



松浦木材株式会社(高知県)



世界と世界の物流を支える
持続可能な未来を彩る

田路:会社について簡単に教えてください。

谷口様:当社は高知県須崎市を拠点とし、海外輸出する際に使用する梱包材の材料となる「木材の製材」を行っています。当社の製品は人々の暮らしに直接関わっているわけではありませんが、須崎の港からさらに海外へとつなぐ物流を支えています。

田路:高知は木材業が盛んであり、活気がありますよね！！

谷口様:そうですね。ただ原木価格や輸送コストの上昇、人手不足など、製材業を取り巻く環境は厳しさを増しています。そうした中、既存事業だけに頼るのではなく、会社として新たな可能性を模索する必要性を強く感じていました。「製材業の枠を越えて、木材を使った新しいアプローチはできないか」「木材の価値を、もっと身近に届けられないか」そんな思いから、私たちは日々さまざまな試行錯誤を重ねています。

田路:身近な木材ですか！例えばどんなものですか？

谷口様:薪や薪割り台、着火用アイテムなど、キャンプ・アウトドア分野の商品開発にも取り組みははじめました。これまで製材の現場では活かしきれていなかった木材に新しい命を吹き込み、一般消費者向け(BtoC)市場へ進出するなど、新規領域への挑戦しています。「もっと面白くできないか」という探求心と遊び心を持って、日々新しい可能性を追求しています。

田路:キャンプ好きの僕からすると、とても興味があるお取り組みです！日々の疲れを焚火で癒されたいですね～、…。

谷口様:それともうひとつ、新たな取り組みとして、現在は木材業界専用のクラウドシステム開発を進めています。

さまざまな挑戦を重ねる中で、「新しい商品をつくる」だけでなく、これまで自社で当たり前に行ってきた業務やノウハウそのものにも価値があるのではないかと考えたのがきっかけです。木材業界はDX化が遅れており、今なおアナログな取引が多く残る業界の一つです。寸法や本数からの材積算出、取引先ごとに異なる計算方法への対応、納品書・請求書の作成など、業界特有の複雑な業務が存在します。そうした独自の商習慣があるからこそ、現場の課題や蓄積されたノウハウを再点検し、木材計算システムの開発へと結びつけました。現在は開発段階ですが、今後は同じ悩みを持つ同業者の皆様にもご提供し、業界全体の業務効率化に貢献したいと考えています。

田路:自社だけでなく他社のDX推進まで見据えられているのは素晴らしいですね。私たちゼロプラスも独自でシステムを開発・運用していますが、サービス業特有の業務管理や販促において、なくてはならない存在になっています。

谷口様:そうですね。業種は違うので用途は異なりますがこの業界の脱アナログの先駆けになれるよう、開発に取り組みたいと思っています。

田路:松浦木材様のお取り組み、応援しております！！

木材業のDX化において、お困りのことがあれば、是非 松浦木材株式会社へお問い合わせください。



会社名: 松浦木材株式会社
住所: 高知県須崎市港町85
電話番号: 0889-42-0152
会社HP: <https://mtur-moku.com/>



当社HP  ゼロプラスの 歴史や理念、事業内容 をご紹介します！	カタログ補助金.com  省力化補助金(カタロ グ注文型)対象設備を 簡単検索！	CO2比較.com  脱炭素に関する最新 情報を随時公開！	エスケイマシン在庫  販売可能な中古機械 の在庫一覧です！	Instagram  ゼロプラスの雰囲気 や従業員たちの楽し い日常！	公式LINE  大場社長 ゼロプラス 補助金・脱炭素などの お役立ち情報を配信！	問い合わせ先 〒 664-0858 兵庫県伊丹市西台1-5-7 2F TEL 072-764-5340 FAX 03-6800-5265 Mail info@zeroplus-consul.co.jp
--	--	--	--	---	--	--

脱炭素ニュース



8月21日に「いたみ脱炭素シンポジウム」が開催されました。ゼロプラスが参画している「いたみ脱炭素コンソーシアム」推進の下、伊丹市主催で開催された本シンポジウムは、脱炭素の取り組みの共有と地域の連携を深めることを目的として伊丹市民と市内企業を対象に実施されました。

ゼロプラスからは代表の大場が基調講演に登壇し、中東情勢による化石燃料の高騰を踏まえて脱炭素とコスト削減を同時に実現する取り組みについてお話ししました。その他にも、市立伊丹高校の学生による市内企業の課題解決学習の発表や、脱炭素経営に取り組む市内企業のパネルディスカッション等を実施し、脱炭素についての理解を深めるイベントとなりました。

【イベント情報】



2026年10月23～24日開催の
2026岡山どてらい市に出展します！

脱炭素・コスト削減に向けた施策や、
補助金利用についてのご相談を受け
付けます。
ぜひお気軽にご来場ください！

2026岡山どてらい市
公式HPはコチラ！



カタログ型補助金紹介

熟練工の勘に頼る溶接から、「協働ロボット×ファイバーレーザ」の自動溶接へ！

AMADA製「ハンディファイバーレーザ溶接機用協働ロボットシステム (FLW1500MT+CR700W)」は、カタログ補助金の対象製品です。自動化装置(ロボット系、AMR、AGVなど)のカテゴリでご購入いただけます。熟練技能への依存という「ムリ」、仕上がりの個人差という「ムラ」、溶接不良による手直しの「ムダ」を、協働ロボットが解消。ファイバーレーザによる局所的な加熱で熱影響を抑え、溶接品質を安定させます。トーチは手動・自動の両方に対応でき、作業者と並行して作業することも可能です。溶接工程の自動化をご検討の際は、ぜひご相談ください。



代表から一言

令和9年度予算の概算要求が発表されました。高市政権はこれまでの毎年補正予算を編成する前提を大改革し、本予算へ一本化増額143兆円となりました。中小企業向けの予算は大幅に増額され、高市政権が掲げる成長、投資、賃上に関連した政策が目白押しです。中小企業庁はこれまでの全ての中小企業をカバーした産業福祉的な政策から、売上増額を目指す企業を重点的に支援する『10億円宣言』『1億円宣言』のように成長投資支援に軸足を移してきました。人口が縮小する環境で現状維持を思考すれば衰退します。当社の社名ゼロプラスとは、売上を1桁増やすお手伝いという意味です。政府もようやくゼロプラスすることが重要だと認識したようなので(笑)、今回の予算をきっかけに皆様と一緒に更なる成長を目指すきっかけにしたいと考えます。

